

田村明子 ピアノリサイタル Der Weg... 道

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第7番 Op.10-3

ベルク：ピアノ・ソナタ Op.1

ブラームス：4つの小品 Op.119

シューマン：交響的練習曲 Op.13 遺作付き

2016年4月10日 [日] 14:00 開演
浜松市福祉交流センター ホール

2016年4月23日 [土] 14:00 開演
銀座 ヤマハホール

全席自由 一般3500円 / 学生2000円
(MUSICA CLARA 会員 一般3000円 / ペア5500円)

[両公演共] ご予約・お問合せ：オフィシャルシュ 03-3565-6771 www.officearches.com

MUSICA CLARA ムジカ・クララ akiotamura-musicaclara.com

チケット取扱：チケットぴあ 0570-02-9999 / Pコード 285-358

[浜松公演] アクトシティ浜松チケットセンター、ヤマハミュージックリテイリング浜松店 他

[東京公演] 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

主催：MUSICA CLARA

後援：公益社団法人日本演奏連盟 / ヤマハ株式会社

[浜松公演] 浜松市 / 公益財団法人浜松市文化振興財団 / 静岡新聞社・静岡放送 / 中日新聞東海本社

Der Weg... 道

2014年秋のウィーンでのリサイタルの後、ブラームスの足跡を訪ねて小さな旅をしました。リヒテンシュタインの小高い丘の上に建つブラームスの小さな家からクララの家まではほんの5分の道のり、そのちょうど中間点にある教会に、ふと立ち寄りしてみました。ひっそりと静まり返った礼拝堂は人の気配を感じないのに、灯されたばかりの蝋燭と窓から注ぐ陽だまりでほんのり暖かく、歩き疲れた私のこころを癒してくれました。祭壇のそばには教会学校の子供達のためのなつかしい色とりどりのアルファベットの積み木が置かれていました。思わず手に取って並べた文字は、DER WEG ~道…。

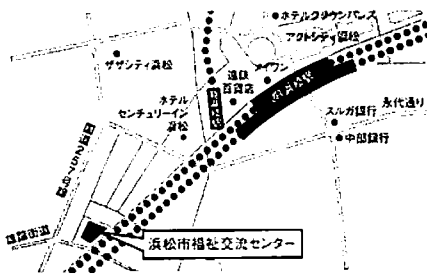
～あらゆる音を聞いて 色とりどりの地上の夢の中に

一つのかすかな音が響き続ける 秘かに響き入る者のために～

F. シュレーゲル

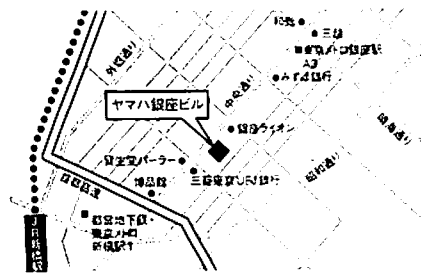
HAMAMATSU 4月10日[日] 14:00 開演

浜松市福祉交流センター ホール 浜松市中区成子町140-88



TOKYO 4月23日[土] 14:00 開演

銀座 ヤマハホール 東京都中央区銀座7-9-14 ヤマハ銀座ビル7階



全席自由 一般3500円/学生2000円

(MUSICA CLARA会員 一般3000円 ベア5500円)

[両公演共] ご予約・お問合せ(マネジメント):

* オフィシャルシュ 03-3565-6771 www.officearches.com

* MUSICA CLARA akicotamura-musicaclara.com

チケット取扱い: チケットぴあ 0570-02-9999 Pコード 285-358

[浜松公演] アクトシティ浜松チケットセンター

ヤマハミュージックリテイリング浜松店

HCF オンラインショップ www.hcf.or.jp/shop

[東京公演] 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

※会員割引とペアチケットの取扱いは※印のみです。

会員申し込みについて詳細はMUSICA CLARA またはオフィシャルシュへお問合せください。

※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。

後援: 公益社団法人日本演奏連盟/ヤマハ株式会社

[浜松公演] 浜松市/公益財団法人浜松市文化振興財団

静岡新聞社・静岡放送 中日新聞東海本社

田村明子 Akiko Tamura

5歳よりピアノを始める。全日本学生音楽コンクール中学校の部全国一位。桐朋学園大学にて、故林秀光氏、故田中希代子氏に師事。第58回日本音楽コンクール第2位、及び河合賞受賞。小松一彦指揮関西フィル、武藤英明指揮ニューフィル千葉と共演を重ね、東京文化会館主催 大ホールでの「春の都民コンサート」では小泉ひろし指揮東京シティフィルと共演。その後、ザールブリュッケン州立音楽大学、B.Glemser氏のもとで研鑽を積み、マリア・カナルス国際音楽コンクール、ヨーロッパ・ショパン国際コンクール等での受賞後、各地でリサイタル、放送録音など活発におこなう。ドイツ国家演奏家資格を首席で得て、1997年帰国。同年秋のドイツ・ショパン協会主催「ショパン命日記念リサイタル」、同協会創立30周年記念演奏会など、帰国後も度々ドイツに招聘され演奏。国内では、帰国デビューリサイタル(毎日新聞社主催)を皮切りに、第17回横浜市招待国際ピアノ演奏会にて田中良和指揮新日本フィルと共演、イ・ムジ合奏団元リーダーのF.アゴスティーニ氏を始めとする国内外の著名な演奏家との室内楽、日本各地でのレクチャーコンサートなど、積極的に演奏活動を展開する。2003年リサイタルでのショパン:バラード全曲の演奏に対し第30回日本ショパン協会賞を受賞。2006年より浜松在住、G.ハルトマン指揮アンサンブルムジーク、瀬山智博指揮浜松フィルと共演。2009年からは浜松と東京で定期的リサイタルを開催、その深い考察に基づいたダイナミックでかつ繊細な音楽でファンを魅了している。CDでは2011年ベートーヴェンとシューマンの作品を収めた1stアルバムを、そして2014年の浜松、東京、ウィーンで好評を得たリサイタル・プログラムからリスト:ピアノ・ソナタとシューベルト:楽興の時を収めた待望の2ndアルバムを2015年春、いずれもMUSICA CLARA(販売元レグルス)よりリリース、レコード芸術準特選盤に選ばれるなど高い評価を得ている。現在、愛知県立芸術大学非常勤講師、袋井市月見の里室内楽アカデミー講師として若い音楽家の育成にも力を注いでいる。

CD Now On Sale 田村明子 ピアノ

1st



ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第13番 Op.27-1

ピアノ・ソナタ 第30番 Op.109

シューマン:色とりどりの小品 Op.99 より

幻想曲 Op.17

録音:2011年4月19日-21日 天竜壬生ホール

Piano:YAMAHA Concert Grand Piano CFX

CLA1001-2 ¥2,800(税込)

2nd



リスト:ピアノ・ソナタ ロ短調 S.178

シューベルト:楽興の時 D.780

録音:2014年12月1日-3日 天竜壬生ホール

Piano:YAMAHA Concert Grand Piano CFX

CLA1003 ¥2,500(税別)



発売元:MUSICA CLARA

販売元:レグルス 045-983-9596 regulus@r2.dion.ne.jp

『レコード芸術』2015年5月号 準特選盤 推薦[那須田 務]

田村明子は2011年にベートーヴェンのソナタ第30番とシューマンの〈幻想曲〉等でCDデビュー。借り物でないオリジナルな「歌」が好ましく、当欄に「間違いない、心の底で感じる歌を歌える、数少ないピアニスト」と書いた。それは今度のアルバムにもいえる。とくに大作リストのソナタではさらにスケールの大きなピアニズムが示され、頑強な体躯の男性ピアニストのようなパワーと迫力である。展開部までの音楽の運び方が見事だし、アレグロ・エネルジーコは高揚感とともにスピードが乗って実にスリリング。グランディオーソの第2主題も威風堂々。再現部の前のリリカルな美しさ、その後のフーガ風の箇所は緊迫感に満ち、再現部から最後の静けさへの推移では見事に時間と空間の質を変えてみせる。とにかく聴かせる。中身のぎっしりと詰まった魅力的な音だと思ってブックレットを見たら、ヤマハのCFXだった。シューベルトの《楽興の時》もすばらしい。第1番冒頭の主題のアゴーギクが独特。自由な歌い回しで時が止まったよう。第2番はさらにテンポを遅くし、しばしその場に留まり、音と響きの余韻が心に刻み込まれる。形式ではなく、その瞬間の靈感や響きとその余韻で音楽を作るのは、今月のフレイヤ高橋アキのシューベルトに通じるもの。といって15年ほど前のアフアナシエフほど極端ではない。今後こういうシューベルトがもっと増えてくだろう。